

2017

Nakamaro

レポート

Vol. 7



特定非営利活動法人
奈良国際友好交流協会 Nakamaro

URL: <http://nakamaro.noor.jp/>
E-mail: info@nakamaro.noor.jp

Contents

Nakamaro会の目標	-----	2
2017年度総会・記念講演会報告	-----	3
林先生 特別講演報告	-----	4
台湾研修生受け入れ報告	-----	5
台北駐大阪経済文化弁事処 表敬訪問	-----	7
『星を見る会』実施報告	-----	8
カンボジアツアーレポート	-----	9
放射線技師会65周年記念式典に関する交流報告	-----	12
赤膚焼き交流報告	-----	13
Nakamaro(ナカマロ)の由来	-----	14

Nakamaro会の目標

認定NPO法人をめざします

Nakamaro会は、国内外の医療関係者および一般の人々に対して保健医療の増進と健康福祉および芸術の振興に関する事業を行い国際友好の立場から保健医療技術および学術、文化、芸術の発展と交流を図り、他国との相互理解を深め、国内外の人々の健康増進と福祉に寄与することを目的として2012年に設立しました。現在法人設立から5年を経過し、少しずつではありますが活動の輪を広げております。今後は認定NPO法人の獲得をめざして努力を続けて行きたいと考えています。みなさまのより一層のご支援をお願い致します。

認定NPO法人制度とは

NPO法人の活動を支援するため税制上の優遇措置税制として設けられた制度で、認定NPO法人への寄附は寄付金額に応じた所得控除もしくは税額控除を受けることができる。

～理事長ごあいさつ～



人と人の出会いは不思議なものです。世界の何処か地球上の何処かでわずかな一瞬や、ほんのひと時に出会ったことが、自分の生涯を大きく変化させることができます。

一期一会は英語で“Treasure every meeting, for it will never recur.”と表現するそうです。まさに出会いは宝物です。このような一期一会を大切に、国際交流を深めていきたいと思っています。世界の人々との友好交流に関心をお持ちの皆様、Nakamaroをよろしくご支援下さい。



2017年度総会・記念講演会

2017/5/27

2017年度総会・記念公演会が5月27日ホテル日航奈良にて行われました。今年の記念公演会では、「古典芸能にふれる」をテーマに、講師として生田流当道音楽会大勾当(だいこうとう)菊光弥 敬子(きくこうや けいこ)先生をお招きして「お琴の調べ」を鑑賞しました。(大勾当は生田流当道音楽会の6段階に分かれている師範の中最高格に当たります)

今回は、琴演奏にフルートの競演も交え、琴は菊光弥 敬子先生、菊祥弥 みどり様 フルートは馬先 薫様の演奏で、「六段の調べ」「春の海」「花は咲く」「赤とんぼ」「花嫁人形」など20曲余りを演奏いただき、しばし雅な世界に浸り、最後は琴の演奏にあわせ会場の皆さん全員で「ふるさと」を大合唱し、和やかな雰囲気で演奏会を締めくくっていただきました。参加者の皆様からは次の機会を期待する声もたくさんいただいています

菊光弥 敬子先生



人間国宝菊原初子師に師事。1994年菊原光治門下 菊光弥敬子の雅号を受けられ、現在は生田流当道音楽会大勾当として日本国内はもとよりオーストラリアを中心海外でも活動。2006年キャンベラ世界尺八大会にて演奏、2007年豪日協会より感謝状授与、2010年ブリスベンにて演奏会開催など幅広く活躍されています

バザー報告

2017年度総会においてバザーを開催。「東松島生まれのおのくん」「お酒」「米」「赤膚焼き」など販売。

総会バザーの収入は日本赤十字社奈良県支部を通して「熊本震災義援金」として寄付致しました。ご協力頂きました皆様に感謝いたします。ここにご報告させて頂きます。改めてまして被災されました皆様にお見舞いを申し上げます

ご来場の皆様、ご協力ありがとうございました。

林政勳博士 特別招待講演会報告

2017/6/25



日 時 2017年6月25日(日) 午後4時～午後6時
 会 場 奈良県立医科大学 臨床研究棟1階 大会議室
 主 催 NPO法人奈良国際友好交流協会Nakamaro
 協 力 公益社団法人奈良県放射線技師会
 参加者 24名

台湾中台科技大学医学影像学・放射線科学部 林政勳教授が今回研修生の引率として来奈されるにあたり、特別講演をお願いしました。氏は同大において専門とする放射線画像学に造詣が深く多くの論文を発表される一方で、台湾医学放射線学会会長を歴任(2014-16)されるなど幅広く活躍されています。また英国仕込みの流暢なネイティブイングリッシュを駆使した国際派としても活躍され、世界各国に沢山の知己をお持ちです。

今回は「Cardiac CTによる冠状動脈分枝とplaquesの相関関係」と題して講演いただきました。近年の成人病として増加傾向にある心疾患について、過去に経験した心臓CT画像を再解析した結果、”冠状動脈分枝の分枝角度が60度以上になると、心筋梗塞のリスクが高まる”というデータを示し、「60才以上で成人病疑いのある成人では、検診的に心臓造影CTによるチェックが望ましい」と結論付けられた。

講演は英語と台湾語であったが、丁寧な図解と説明による講演はとても解りやすく、参加者から大変好評をいただいた。また大阪都島クリニックで活躍中の黄博偉氏(放射線技師・台湾出身)に同時通訳をお願いしました。的確な通訳は聴講者が内容を理解することに大きな力となりました。感謝いたします。

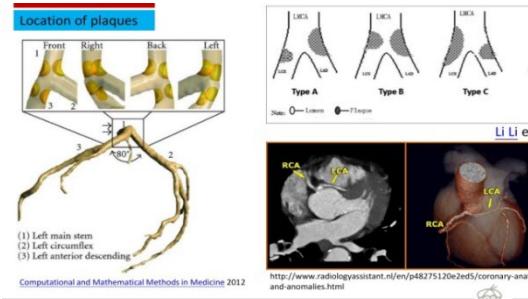
大学附属病院
NARIYAMA HOSPITAL
2017.06.25

冠状動脈夾角與斑塊的電腦斷層攝影相關性研究

The investigation of the relationship between CAD and left coronary bifurcation and plaque with the aids of Cardiac CT

黃棟國 Huang, DongKuo
台中童綜合醫院
台灣

林政勳 Lin, ChengHsun
中台科技大学
台灣



左から
趙晨陽さん、黃博傑さん、林政勳先生
三浦玉恵さん、林川哲さん



会場の様子

台灣研修生受け入れ報告

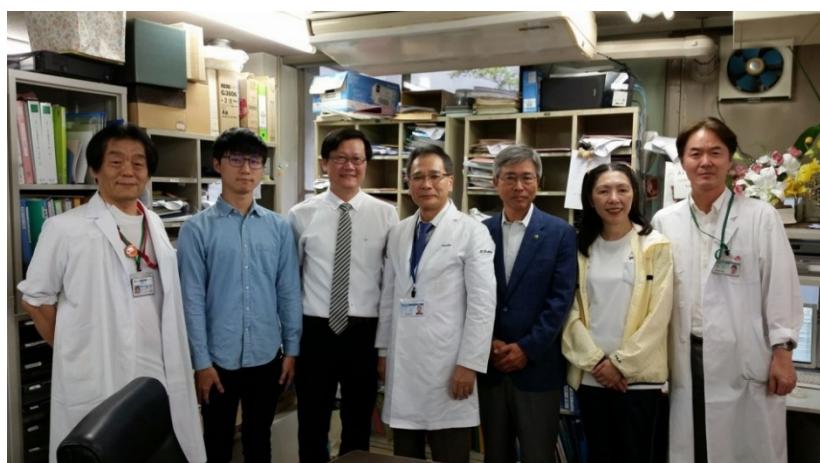
日時 2017年6月24日(土) ~7月31日(日) 38日間

今年の台湾研修生の受入れ事業は、2017年6月24日(土) ~7月31日(日)の38日間、台湾中台科技大学医学影像学部放射線学科4年生の男子学生、趙晨陽(チヨウシンヨウ)くん22才を迎えて実施しました。学校からの資料では日本語検定2級をクリア、学業優秀な好青年ということで準備にも力が入り大きく期待が膨らみました。

今回は奈良県立医科大学付属病院 中央放射線部の吉峰正さんがホームステイを引き受けてくださいり、研修生の利便性と安全面がしっかり確保できて非常に助かりました。事前の打合せで、食事の好みや日常の接し方、対応の仕方など細部について心配をしていただいたが「お客様としてではなく、家族の一員として自然に接してください」とだけお願いをした。しかしそんな心配をよそに始まつてみると、たちまちホストファミリーと打ち解け一ヶ月があつという間に過ぎていきました。趙くんの明るいキャラクターと、真摯でまじめな態度は大変評判がよく、研修先でも好感をもって迎えられていました。吉峰ファミリーの「ホスピタリティー」のたまものであると心から感謝しています。

すべてが順調の中で経過し成功裏に終わりました。しかし最後に予期せぬハプニングが起こりました。帰国日7月30日です。台風12号が台湾を直撃。台北空港が閉鎖され航空機の欠航が相次ぎ、関西空港で足止めされてしまったのです。見送りにいった吉峰ファミリーも私も、まったくの初体験の事態で、空港での対応に苦慮しました。しかし自然との戦いは如何ともしがたく、やむなく帰国を一日延期することとなりました。翌7月31日再度関空へ、帰国の途に就き台湾無事到着の報があった時は思わず胸をなでおろしました。大事には至らなかったものの、順調に経過したことによる気の緩みのへ戒めであったのではと、反省とともに自戒しています。

最後に期間中ご協力いただきました全ての方に御礼申し上げますとともに、趙晨陽くんが今後ますます活躍されることをお祈りします。



奈良医大放射線課にて 吉川教授と 2017.6.25



奈良少年刑務所見学 7.16



尾上邸にて流しソーメンBBQ 7.17



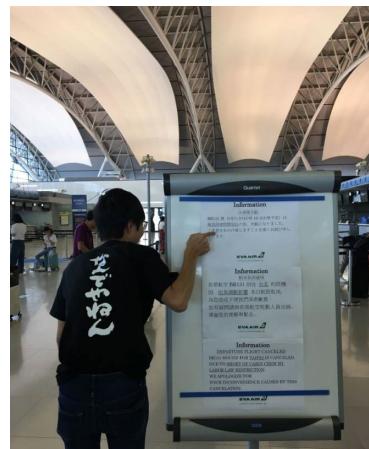
カリスマ美容師のヘアーカット



修了証授与 7.27



さよならディナー「山葵」 7.27



関空足止め 7.30

台北駐大阪經濟文化弁事処 表敬訪問

2017/6/26

中台科技大学林政勳教授が来日された機会に台北駐大阪經濟文化辦事處を表敬訪問致しました。事務所からは黃水益部長、羅國隆課長、陳浩明係長が対応して頂きました。記念品を交換し、さらなる交流を進めることができました



台北駐大阪經濟文化辦事處

HP:http://www.taiwanembassy.org/jposa_ja/index.html

1972年9月日本と中華民国(台湾)両国は国交を断絶しましたが、歴史的、地理的関係が深い故、貿易、経済、技術、文化交流を継続する必要があります。従って、両国の実質関係を維持するため、1972年12月には相互の在外事務所を設置する協議を取り決めました。

その取り決めの精神に基づき、台北駐日經濟文化代表処は中華民国(台湾)の日本における代表機関であり、実質的には大使館の役割を果たしています。本処の管轄は日本の近畿及び東海、北陸、中国地方と四国などの2府18県に及んでいます。主な業務は双方の経済貿易、学術、科学技術、文化、スポーツ等の交流に関する推進活動並びに中華民国旅券、渡航ビザ及び書類証明等の発給、華僑に対する保護支援など、実質的には総領事館の役割を有しています。



處長(總領事) Director General(Consul-General)
陳訓養(チン クンヨウ) Chen shin-yang
1955/3/20 台湾花蓮市生まれ



事務所移転のお知らせ
2017年9月4日に以下の住所に移転になりました。
当会よりお祝いのお花を送りました。
〒530-0005
大阪市北区中之島フェスティバルタワー19F

10月8日に開催されました
台湾106年双十國慶祝賀会に河村理事長
堀河副理事長が出席しました



『星を見る会』実施報告

2017/9/9-9/10

秋空の下『星を見る会』が大塔村コスミックパークにて開催致しました。34名の方に参加いただきました。お風呂に入り、皆様と談笑しながらの夕食、そしてプラネタリウムではわかりやすい説明を“聴(十四の心で聴く)”きながら…皆さんはどのような“十四の心”で星をご覧になられていたのでしょうか？…

その後は外へ出ての観測。空気が凜と張りつめた中で星ソムリエの宇都監事のお話…

そして帰室。美味しいお酒を頂きながらのこれまた世界旅先案内人の宇都監事の旅行記をDVDで拝見しながらの贅沢な時間を“旅”させていただきました。色々なご経験を積んでこられた方との出会い…日常の慌しい情報生活では体験できない時間を“ごちそうさまでした”。すべては下の写真の皆さんのが笑顔がそれを物語っていると思います。

今後も沢山の方との出会いを楽しみにし、参加記とさせていただきます。詳細は以下の通りです。

開催日	2017年09月09日・10日 晴れ
場所	大塔コスミックパーク『星のくに』 〒637-0417 奈良県五條市大塔町阪本249 Tel; 0747-35-0321
参加総人数	34名(内訳)会員;10名、非会員;24名、小学生;3名、中学生;2名、宿泊;19名
補足事項	① 理事会開催;2017年09月09日17時～17時45分 ② 懇親会;宇都監事DVD放映(コリノ天文台落成式、オレゴン州皆既日食、ネパール旅行他

平成.29.-9.10. 星見の会 (NPO NAKAMARO) in 星のくに (五條市大塔村)



カンボジアツアーレポート

2017/9/13-9/16

今回の「Nakamaro会」カンボジア王国訪問の目的は、2016年1月にソニコム病院に寄贈した産科向けの温水給湯システム(Nakamaro Water Supply)の稼働状況確認と訪問時にサムロン病院に設置が完了した(Nakamaro Water Supply)2号機の寄贈式及びソムロン病院からの感謝状授与式典への出席であった。

そして、現地で日本人女性が働くロイヤルアンコール病院の視察、ポリオで足が不自由ながらも村の子どもたちに英語を教える青年の英語教室の訪問と学用品の寄贈、それ以外の時間では、現地の産業としてワニの養殖から加工製品を一貫して行っている店舗へ視察調査購入研究を行った後に前回も訪れたコットン製品を糸紬から機織り販売までしている店舗へ立ち寄り、現地の女性による手作りのコットン製品を購入した。

夕方からは、ナイトマーケットなどでの買い物を通じて、現地の経済状況の実践的調査研究を行った。また、トレンサップ湖にてボートを貸し切り湖上から水上生活者の生活実態を見聞きし日本との生活文化の違いを確認しその違いに大いに感嘆した。

各訪問先での詳細について

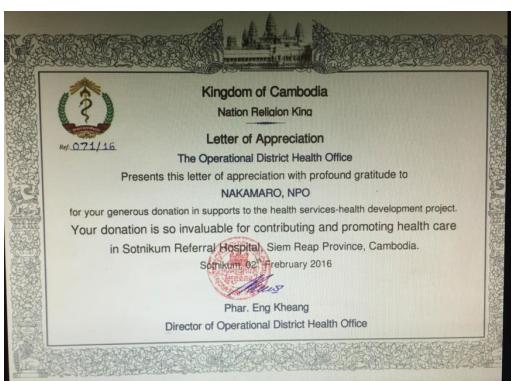
2017年9月13日10時30分に出発しベトナムのホーチミンを経由してカンボジア王国第二の都市シェムリアップにその日の夕方18時30分(現地時間)頃到着した。

実に出発から10時間近くの道のりである。到着後ホテルにチェックインして夕食をしながら訪問先のミーティングを行い一日目の日程が終わり就寝した。

翌日2017年9月14日 二日目の一一番目の訪問先は、ソニコム病院である。昨年1月に寄贈した(Nakamaro Water Supply)1号機の稼働状況の確認であるが、お湯の蛇口をひねったところ、瞬時に高温のお湯が出てくることを確認することが出来た。また、病院のドクターは、この(Nakamaro Water Supply)が産科のお産時に有効に活用され大変役立っていると喜んでおられた。このシステムが設置される前は、妊産婦が出産直前に産湯を大鍋を使い薪で沸かしていた。(Nakamaro Water Supply)が設置されてからは、必要な時に瞬時に高温のお湯が供給されるので重宝され、お産時における衛生面も改善された。

このシステムは、2000ℓの貯水タンク、水を供給する電動ポンプ、イタリア製の電気湯沸かし器そしてそれらを繋ぐ配管一式から構成されている。

私たち「Nakamaro会」は経済的な寄付をするのではなく、現地に赴き私たちの目でみて聞き取り調査をし、そしてその地域や医療現場のニーズに適した設備を寄贈している。



カンボジア王国からの感謝状と堀河副理事長

二番目の訪問先はソムロン病院である。前回2015年カンボジア王国を訪問時にこの病院を視察したところ、妊産婦の出産が多く、病院の院長から(Nakamaro Water Supply)の寄贈の要望があった。それを受けた今回の(Nakamaro Water Supply)2号機の設置となった。

これらの活動を通じて「Nakamaro会」は、些細ではあるがカンボジアの医療環境の改善に取り組んでいる。日本では当たり前のことがカンボジアでは当たり前でないことに痛感する。皆保険制度(健康保険制度)が、カンボジアでは制度自体が無いようである。よって、医療費はすべて実費で支払いをしなければならない。公立の病院は比較的医療費が安いようであるが、医療機器などはほとんどなく日本に比べれば衛生面も非常に低いと思われる。



ソムロン病院の院長から感謝状が贈呈されました。

三番目の訪問先は、ロイヤルアンコール国際病院の見学である。この病院は、隣国タイ・バンコクを拠点とするバンコク病院(BDMS)ネットワークのグループ病院の国外第1号の医療機関として、カンボジア最大の観光地であるシェムリアップに2007年開院した。

この病院には日本語医療通訳の青砥さん(女性)が日本人向けに日本語で対応されている。この病院の医療サービスは、総合内科・総合外科・耳鼻咽喉科・小児内科・整形外科・婦人科産科である。救急診療は24時間体制で市内宿泊先への救急車要請・ホテル往診・国内外の緊急転院搬送手配などを行っている。また、健康診断センターを併設し個人や企業単位での健康診断も実施している。

各種検査は、24時間体制でレントゲン・超音波・CTまた病理検査科を備えている。入院設備は、一般入院病棟(完全個室)・集中治療室(大部屋)・手術室分娩室を完備している。各種言語に対応しており、英語・クメール語・タイ語・フランス語・日本語・中国語に対応している。医師は18名(内タイ人9人クメール人9人)となっている。

1年間に病院を受診する人は、クメール人(カンボジア人)10277人に対して日本人1179人である。立派な病院施設でとても衛生的な環境で設備も充実している。しかし、私立病院なので医療費は決して安いとは言えない。日本の旅行保険にはすべて対応しているとの事なので、旅行時のケガや急病の時は安心である。是非、海外旅行の際には、旅行保険をかけて出かけられることをお勧めします。



日本人通訳スタッフの青砥さん



病院前で記念撮影

3件の病院を訪問した後ホテルに戻りその後、夕食に出かけ買い物をして二日目は無事終了した。三日目は夕方の飛行機でベトナムを経由して日本に帰る。関西空港に着くのは、日が明けて2017年9月16日早朝になる。一番目の訪問先は、ポリオにかかり足が不自由ながら地域の子どもたちに英語を教えている青年のスクールへの訪問である。私の片言の英語で、この先生に色々と質問した。私：どこで英語を勉強したのですか？先生：英語のできる友達から英語を教えてもらい、その後は独学で勉強しました。私：英語スクールには、何人の子どもたちが通っていますか？先生：約50人です。私：子供たちにどのような英語を教えておられますか？先生：基本的な英語です。挨拶や自己紹介などです。それ以上の質問は、私の片言英語では無理であった。彼は、足が不自由であるが、自信を持って子供たちに英語を教えていた。そして子供たちは元気に英語の勉強をしていた。子供たちの夢は、将来この先生のような先生になることだと答えてくれた。貧しい村の子供達にささやかなプレゼントでしたが、私たちはそれ以上のものをこの先生と子供達からもらって帰ることが出来た。今回の訪問で唯一の観光になったトレンサップ湖は、貸し切りのボートでのクルージングとなった。ボートは木造でハンドルは日本車のものであった。動力は日本のトラックのエンジンを改造したものである。ボートからは水上で生活している人たちの暮らしを見ることが出来た。



貸し切りボートからのトレンサップ湖の風景

あっという間の三日間であったが、病院訪問は毎回本当に勉強になるとともに、日本の病院が進んでいることを実感する。そして一日も早く世界中の 사람들이等しく医療サービスを受けられる世の中が来ることを願って止まない。今回のカンボジア訪問にあたりまして、事前に色々とお手配いただき、また旅行中も細部までご配慮いただきました河村理事長に感謝申し上げます。

理 事 畑山 庫一

2017/11/17-11/19

放射線技師会65周年記念式典に関する交流報告

公益社団法人奈良県放射線技師会65周年記念式典が11月18日にホテル日航奈良で開催されるにあたり、開催日の前日～翌日に渡って海外からのお客様と懇親会や病院見学等を持ち交流を深めました。

1	主催	NPO法人奈良国際友好交流協会 Nakamaro
2	開催日	2017年11月17日～11月19日 晴れ / 雨 / 晴れ
3	場所	奈良市内～天理市～大和郡山市 ① 『三厨』 〒630-8115 奈良県奈良市大宮町6丁目6-3 ② 『ホテル日航奈良』 〒630-8122 奈良県奈良市三条本町8-1 ③ 『高清会 高井病院』 〒632-0006 奈良県天理市藏之庄町470-8 ④ 『赤膚 恵旦窯』 〒630-8042 奈良県奈良市 西ノ京町215
4	事業内容	海外関係者との病院見学による情報交換 懇親会や陶芸体験による文化交流 その他
5	参加総人数	① 11/17 28名 (関係会員12名) ② 11/18 300名 (関係会員 5名) ③④ 11/19 18名 (関係会員 6名) 延べ350名
6	事業費	66,768円 (送迎交通費、昼食費用、観光料金他) *宿泊費は個人負担、ウエルカム会食費は会費徴収 詳細は決算報告書参照
7	補足事項	①11/17 19時～21時30分 ウエルカム会食 担当:畠山理事 ②11/18 9時～13時 奈良公園散策 担当:河村・上野山・林各理事 ③11/19 9時～12時 高井病院陽子線治療装置見学 ④11/19 13時～15時 赤膚作陶体験 ③④担当:河村・上野山・堀河・林・宇都・尾上



赤膚焼き交流報告

2018/3/4

今年度も赤膚焼陶芸体験会を3月4日に赤膚焼窯元 大塩恵旦先生の指導のもと開催致しました。

参加者は17名。参加者はマイカップや大皿、花瓶などそれぞれのオリジナルの焼き物に挑戦。恵旦先生のご指導のもと、初参加の人はこわごわ土に触りながら、何度も参加している人は、昨年よりいい作品を作るぞと熱い思いを持ちながら皆さん真剣に土をこね。そして、最後は恵旦先生に手直ししてもらい素敵な作品に仕上りました。

今回の作品は、4月28日29日にかけて火入れ焼き上げをし、5月初旬に出来上がりの予定ですが、どんな風に出来上がるのか、今からとても楽しみです。



Nakamaro(ナカマロ)の由来



奈良時代、16歳で遣唐使として長安に渡った阿倍仲麻呂は、大唐帝国高官となり名も朝衡と改め玄宗皇帝の片腕として才能を発揮した。しかし日本への帰国を許されず、望郷の念を抱き続けた。37年後、ようやく鑑真和上らと帰郷の途についたが大嵐に遭遇しついに帰郷は叶わなかった。『あまのはら ふりさけみれば春日なる三笠の山にいでし月かも』は、奈良の都をしのんで詠んだ和歌として有名である。Nakamaro(ナカマロ)は、この阿倍仲麻呂(あべのなかまろ)にちなんで命名されました。そこには目的を同じくした仲間同志が国際交流のために友好をもって集まるう“なかまがあつまろう”との意味を込めています。

2018/5/26 発行

特定非営利活動法人

奈良国際友好交流協会

Nakamaro

URL: <http://nakamaro.noor.jp/>

E-mail: info@nakamaro.noor.jp

